

## 7月19日：大型株が重しとなりVN指数は下落（VN指数 -0.09%）

- VN指数はその他の世界株式市場と同様に上昇して取引を開始した。
- しかし、投資家は悲観姿勢を強めており、多くの銘柄が売られる展開となった。一方、VCB（+2.1%）が大きく上昇したことで指数の下落幅を和らげることとなった。
- マーケットは値動きの荒い展開で、上昇する場面もあったが、徐々に下落する動きとなった。
- 大型株を中心に売り圧力が高まっており、引けにかけて売り圧力は高まった。最終的にはATCセッションで下落した。
- 騰落別では幅広い銘柄が売られる展開となった。185銘柄が上昇、276銘柄が下落した。67銘柄は変わらずだった。
- 流動性はわずかに改善し、売買代金で17.6兆ドンだった。

### VN30指数も下落（VN30指数 -0.14%）

- 時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成するVN30指数は、8銘柄が上昇、19銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。
- 相場を押し上げたのはHDB（+2.4%）とVCB（+2.1%）の二つの銀行株だった。
- 一方、下落した銘柄はNVL（-2.3%）、PDR（-2.3%）、VIC（-1.1%）、VRE（-1.2%）などの大型株や、銀行セクターでもVPB（-1.4%）、TPB（-1.3%）、MBB（-1.1%）は下落していた

### セクター・個別株の動き

- 第2四半期の純利益が前年同期比57%増となったことを受けて、SZC（+7%）はストップ高まで上昇した

- PVP (+6.9%) も純利益が同 230%増となったことで、同様にストップ高まで上昇した。
- 外国人投資家は 2,265 億ドンの買い越しだった。VNM、VHM、HPG が大きく買い越された。一方、上昇した VCB は売り越された。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。